

# 市長定例会見

令和4年3月23日（水曜日）13時00分～

- 1 令和4年4月1日付け人事異動等について
- 2 三原市ゼロカーボンシティ宣言について



# 令和4年度人事異動の重点項目

## 1 コロナ克服・新時代開拓

コロナ対策担当部署の保健福祉課 3名増員（事務職員2名＋保健師1名）

※他部署職員の兼務（最大4名）による応援体制は解消

## 2 子育て支援・女性活躍

子育て支援課に「子育て企画係」を新設し、事務職員1名増員

## 3 デジタル化の推進

デジタル化戦略課に事務職員2名増員

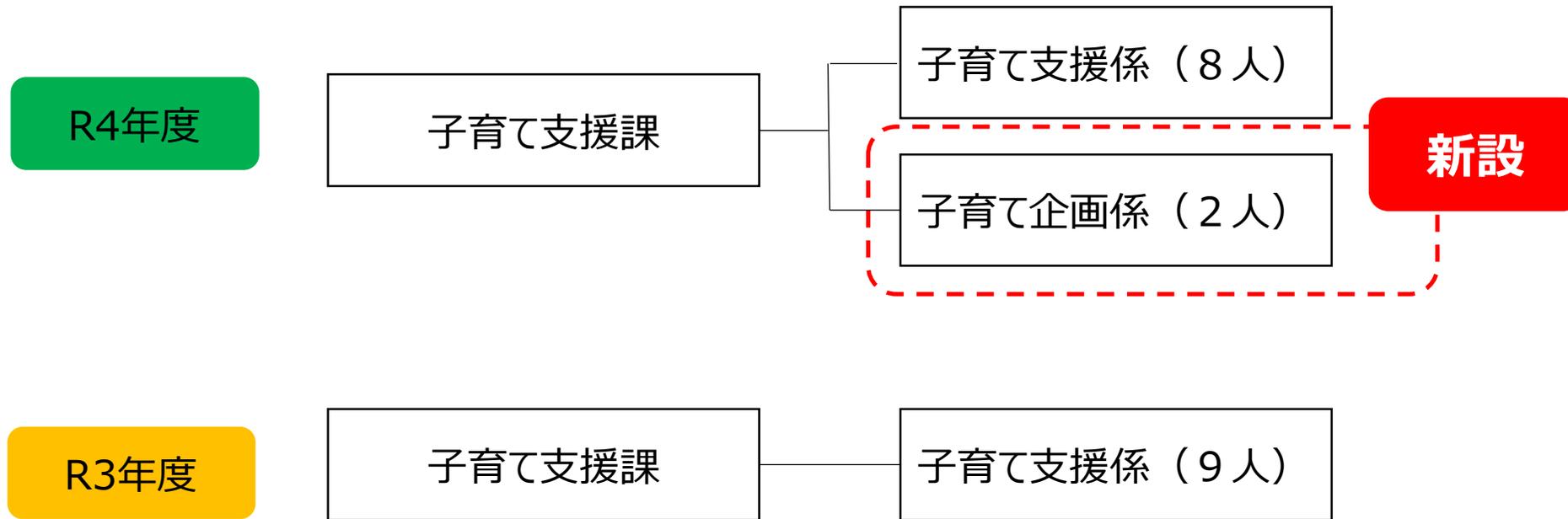
## 4 危機管理体制の強化

危機管理課に「地域防災係」を新設し、事務職員2名増員

# 令和4年度人事異動の重点項目（詳細①）

## 2 子育て支援・女性活躍

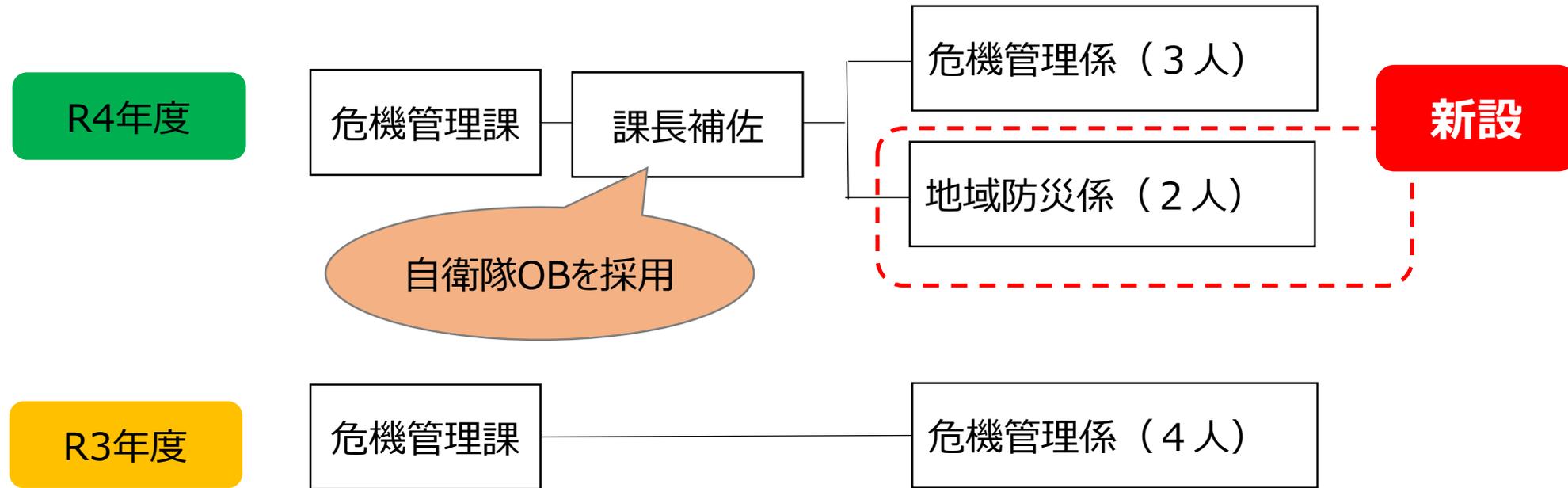
子育てに関する新たな施策の展開を図るため、子育て支援課内に新たに子育て企画係を設置する



# 令和4年度人事異動の重点項目（詳細②）

## 4 危機管理体制の強化

自主防災組織の設立を促進するとともに、危機管理体制の強化を図るため  
危機管理課内に新たに地域防災係を設置する



# 令和4年度人事異動の概要

## 1 組織の概要

2 監 11部 3支所 4事務局 1推進室 52課 124係（前年比2係増）

## 2 職員数の概要

常勤職員数 899人（前年比▲8）※任期付・再任用短時間・会計年度除く

## 3 異動規模

異動発令人数 313人 異動率34.5%（前年度 313人 34.5%）

## 4 女性登用

女性管理職の割合 9.6% （前年度 9.5% R6目標値 15%）

【7人/73ポスト】

【7人/74ポスト】

# 1 ゼロカーボンシティ宣言

## (1) 宣言の意義

地球温暖化に起因するといわれる気候変動の影響により、世界的に深刻な自然災害が発生し、日本国内においても豪雨災害などに伴う甚大な被害が多発している。

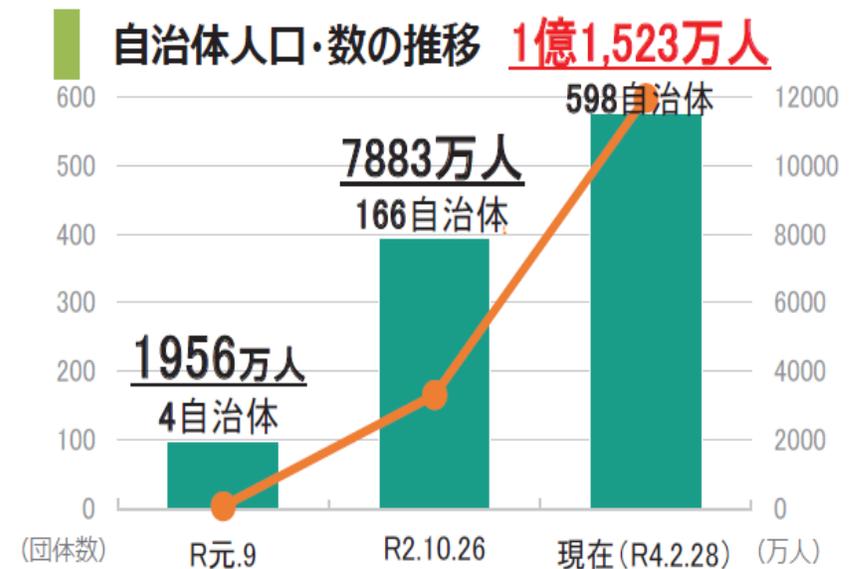
快適で持続可能なまちを次世代に引き継いでいくためにも、市民・事業者等と連携し、脱炭素社会の推進への取組を表明する。

## (2) 宣言状況

○全国で598自治体（令和4年2月28日時点）

○県内では広島県及び4自治体（令和4年3月8日時点）

※ 尾道市・広島市・大崎上島町・東広島市の4自治体



出典：環境省「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明自治体 自治体人口・数の推移（令和4年2月28日時点）」

# 1 ゼロカーボンシティ宣言

## (3) 「三原市ゼロカーボンシティ」宣言文

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響によって、世界各地で深刻な自然災害が発生しています。我が国においてもこれまで経験したことのない集中豪雨等による甚大な被害が頻発し、三原市においてもその影響を受けています。

2018年に公表されたI C P P（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、「気温上昇幅を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」と示され、2021年の国連の気候変動枠組条約第26回締約国会議においては、「パリ協定が掲げる、世界の平均気温の上昇を1.5度に抑える努力を追求する」とした成果文書が採択されました。

三原市は、本市がめざす環境像「一人ひとりが輝く 環境共生都市 みはら」を実現し、私たちのかけがえのない豊かな自然を守り、未来の子どもたちによりよい姿でつないでいくために、市民や事業者など多様な主体と連携し、『2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ』をめざすことをここに宣言します。

令和4年3月23日

三原市長

A large, bold, black calligraphic signature of Takahiro Okada, the Mayor of Mihara City.

## 2 三原市の現状及び削減目標

### (1) 現状

三原市の二酸化炭素排出量（環境省作成「排出量カルテ」より）

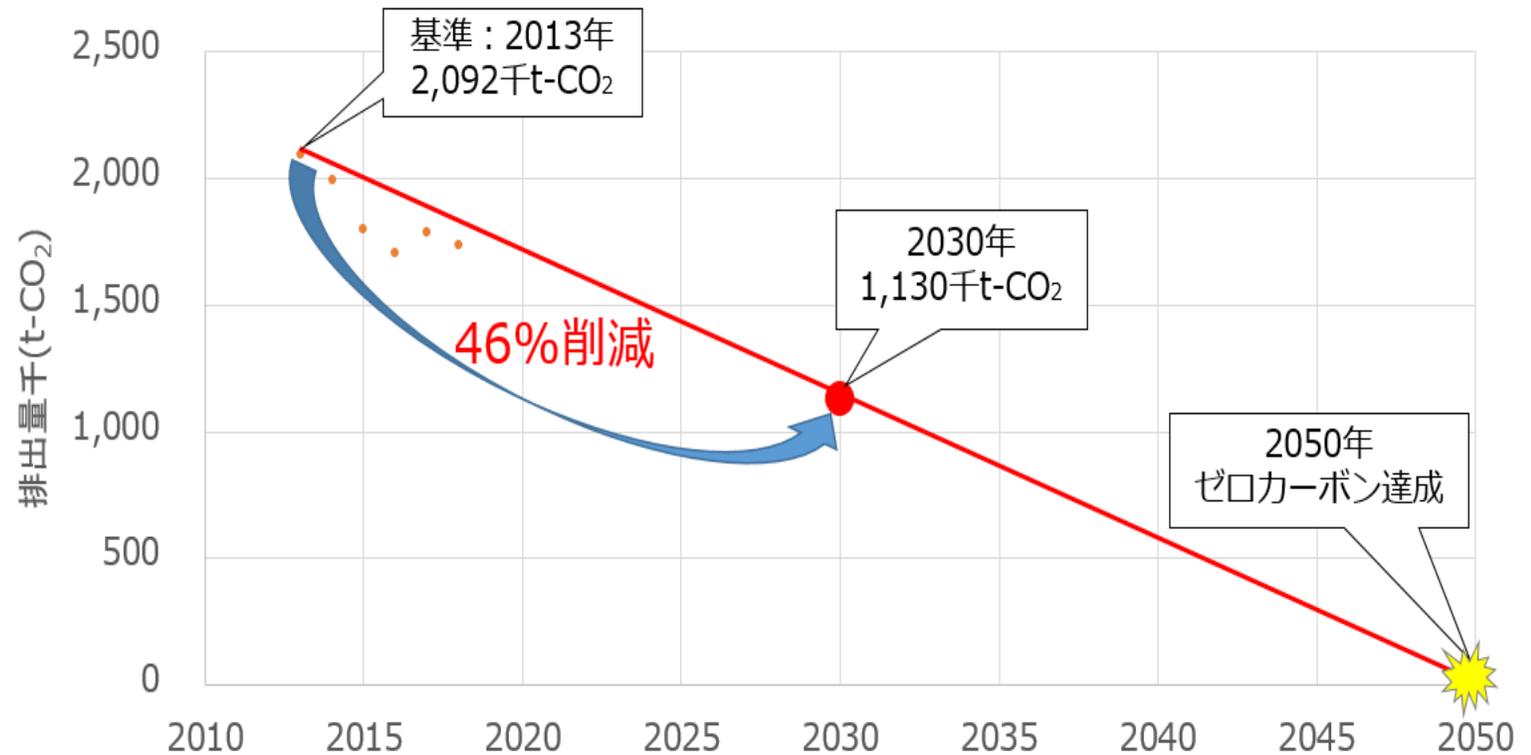
○平成30（2018）年：1,734千t

○平成25（2013）年：2,092千t

### (2) 削減目標

○2030年までに2013年比46%削減

○2050年までにゼロカーボン達成



### 3 削減に向けた今後の取組

#### (1) 市民・事業者との脱炭素化に向けた取組

##### ○COOL CHOICEの推進

生活の中での脱炭素に向けた取組を市民・事業者へ周知・啓発する。また、「環境家計簿」を日ごろからつけ、二酸化炭素排出量の削減に向けた取組の成果を見える化する。

##### ○脱炭素社会推進事業

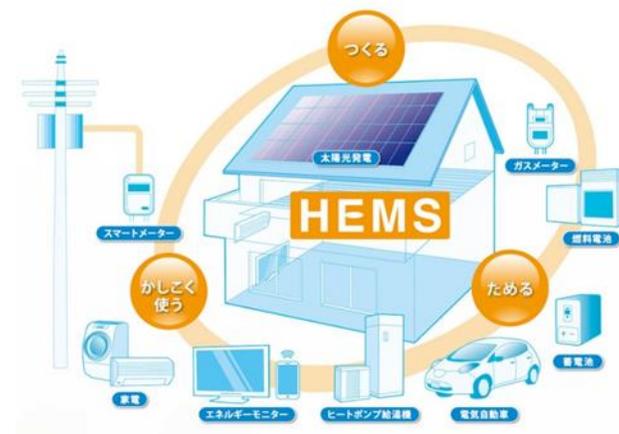
市民・事業者が脱炭素化への取組を積極的に行うきっかけとなるよう、補助事業を推進する

##### 【市民向け】

蓄電池、宅配ボックス、エネルギー管理システム補助

##### 【事業者向け】

省エネ最適化診断の受診費補助



# 3 削減に向けた今後の取組

## (1) 市民・事業者との脱炭素化に向けた取組

### ○環境家計簿

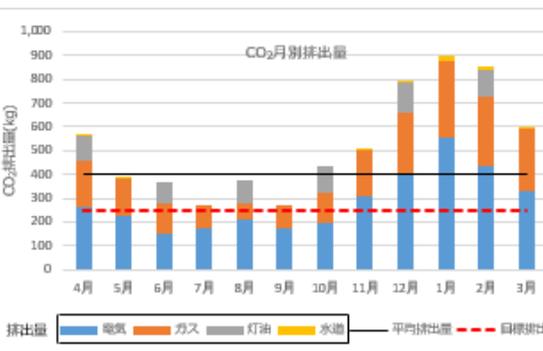
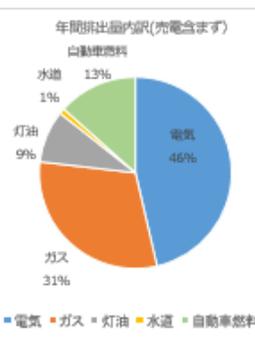
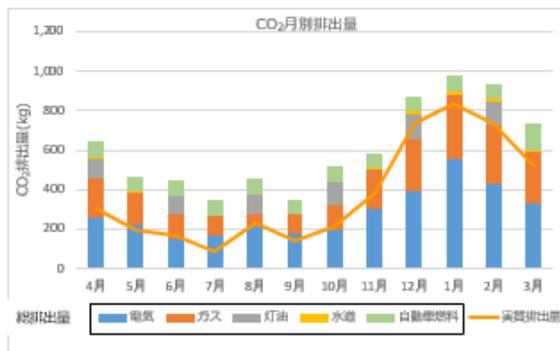


令和 4 年度 環境家計簿

世帯人数	3	人
平均排炭量	402	kg-CO <sub>2</sub> /月
2030年目標排炭量	251	kg-CO <sub>2</sub> /月

氏名	三原 太郎
住所	三原市港町三丁目5番1号
TEL	080-1234-5678
メール	tsug_mihara@city.miyazaki-hiroshima.jp

項目	CO <sub>2</sub> 排出係数	記録内容	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計		
電気 (kWh)	0.531	料金	円	15,442	9,529	7,429	8,578	10,249	9,031	9,724	14,404	18,659	24,983	18,383	14,014	160,425		
		使用量	kWh	491	419	280	321	394	328	364	579	745	1,039	816	619	6,395		
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	260.7	222.5	148.7	170.5	209.2	174.2	193.3	307.4	395.6	551.7	433.3	328.7	3,395.7		
売電(太陽光) (kWh)	0.531	売電量	kWh	638	509	522	486	412	400	569	378	255	263	373	390	5,195		
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	338.8	270.3	277.2	258.1	218.8	212.4	302.1	200.7	135.4	139.7	198.1	207.1	2,758.5		
		CO <sub>2</sub> 削減量	kg	-71.9	-48.8	-128.5	-87.6	-41.6	-34.2	-108.8	-93.3	-65.8	-44.1	-64.8	-77.8	-932.8		
ガス LPガス (m <sup>3</sup> )	6.55	料金	円	3,750	3,125	2,500	1,875	1,250	1,875	2,500	3,750	5,000	6,250	5,625	5,000	42,500		
		使用量	m <sup>3</sup>	30	25	20	15	10	15	20	30	40	50	45	40	340		
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	196.5	163.8	131.0	98.3	65.5	98.3	131.0	196.5	262.0	327.5	294.8	262.0	2,227.0		
灯油 (ℓ)	2.49	料金	円	2,652	0	2,327	0	2,652	0	2,977	0	3,302	0	2,977	0	16,887		
		使用量	ℓ	40.8	0.0	35.8	0.0	40.8	0.0	45.8	0.0	50.8	0.0	45.8	0.0	259.8		
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	101.6	0.0	89.1	0.0	101.6	0.0	114.0	0.0	126.5	0.0	114.0	0.0	646.9		
水道 (m <sup>3</sup> )	0.36	料金	円	3,500	1,750	0	0	0	0	0	1,750	5,250	8,750	7,000	5,250	33,250		
		使用量	m <sup>3</sup>	20	10	0	0	0	0	0	10	30	50	40	30	190		
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	7.2	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	10.8	18.0	14.4	10.8	68.4		
自動車燃料 ガソリン (ℓ)	2.58	料金	円	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	55,800		
		使用量	ℓ	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	50	380		
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	77.4	129.0	980.4		
月間の合計				料金	円	10,854	3,784	1,246	523	6,441	3,556	2,781	13,214	29,211	36,743	27,445	153,012	
総排出量(売電除く)				CO <sub>2</sub> 排出量	kg	304.6	197.0	169.0	88.0	234.9	137.4	213.6	384.2	736.9	835.0	735.8	523.4	4,559.9
総排出量(売電除く)				kg	643.4	467.2	446.2	346.1	453.7	349.8	515.7	584.9	872.3	974.6	933.9	730.5	7,318.4	

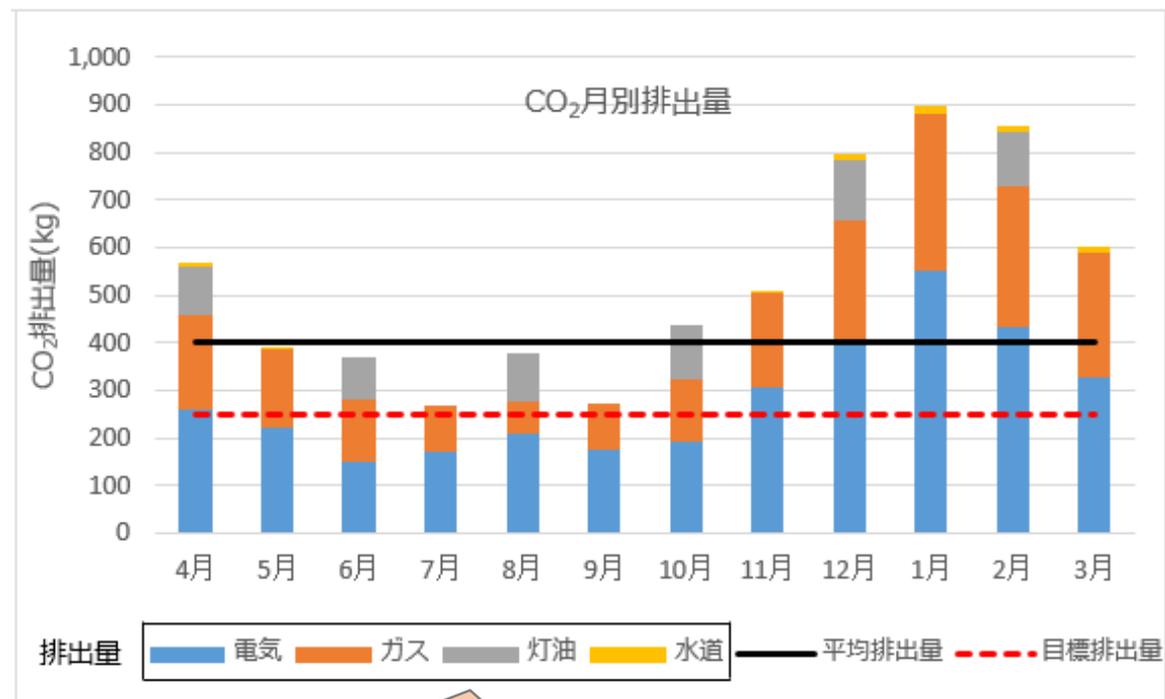


### 3 削減に向けた今後の取組

#### (1) 市民・事業者との脱炭素化に向けた取組

##### ○環境家計簿

項目	CO <sub>2</sub> 排出係数	記録内容	単位	4月
電気 (kWh)	0.531 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	料金	円	15,442
		使用量	kwh	491
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	260.7
売電(太陽光) (kWh)	0.531 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	料金	円	19,140
		売電量	kwh	638
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	338.8
ガス ○都市ガス ●LPガス(m <sup>3</sup> )	6.55 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	料金	円	3,750
		使用量	m <sup>3</sup>	30
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	196.5
灯油 (ℓ)	2.49 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	料金	円	2,652
		使用量	ℓ	40.8
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	101.6
水道 (m <sup>3</sup> )	0.36 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	料金	円	3,500
		使用量	m <sup>3</sup>	20
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	7.2
自動車燃料 ○ガソリン ●軽油(ℓ)	2.58 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	料金	円	4,650
		使用量	ℓ	30
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	77.4
月間の合計		料金	円	10,854
		CO <sub>2</sub> 排出量	kg	304.6
総排出量(売電除く)			kg	643.4



月別の排出量をグラフ化し、  
目標値に向けた削減の意識改革

##### 【目的】

- 市民一人ひとりが脱炭素社会の推進を自分のことと捉え、生活の中での脱炭素化への取組が当たり前になるよう啓発
- 家計簿を日ごろから付け、二酸化炭素の排出量と削減への意識改革を図る

### 3 削減に向けた今後の取組

#### (2) 公共施設の脱炭素化の取組

- 太陽光発電システムの設置
- 外灯・学校施設等の電灯をLED化
- 浄化槽の省エネ化

★脱炭素化の推進に向け、庁内ワーキングチームを設置し、行政が率先して脱炭素化への取組を行う。

#### (3) 電気自動車普及への環境整備

- 充電環境の整備

★三原市に適した施策について、国等の補助金・交付金による支援を活用しながら、脱炭素化への取組を行う。



▲斎場「みはらしの杜」太陽光発電システム



▲公用車に電気自動車を導入

# まとめ

## 1 ゼロカーボンシティ宣言

2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを首長等が表明するもの

## 2 三原市の現状及び削減目標

### (1) 現状

三原市の排出量は1,734千t ※平成30（2018）年

### (2) 削減目標

2030年までに2013年比46%削減

2050年までにゼロカーボン達成

## 3 削減に向けた今後の取組

(1) 市民・事業者との脱炭素化に向けた取組

(2) 公共施設の脱炭素化の取組

(3) 電気自動車普及への環境整備

